

平成 29 年度 経済工商観光部予算の概要

一般会計予算総額 1,461 億 4,800 万円
 (平成 28 年度 1,716 億 100 万円)
 【H28 比 △254 億 5,300 万円, △14.8%】

◆基本的な方向性

平成 29 年度は「宮城県震災復興計画」の
 「再生期」最終年度



「創造的な復興」の実現に向け、「地方創生」の取組と併せ、

「Ⅰ. ものづくり産業の復興」

「Ⅱ. 商業・観光の再生」

「Ⅲ. 雇用の維持・確保」

を柱としながら、「再生期」の総仕上げを図るとともに「発展期」に向けた準備を進める。

主要事業概要

新：平成 29 年度からの新規取組

Ⅰ. ものづくり産業の復興

①被災事業者の復旧・事業再開への支援

- (1) 中小企業等復旧・復興支援費 267 億円
 ・中小企業グループの生産施設等の復旧支援
- (2) 中小企業施設設備復旧支援費 1 億 5,000 万円
 ・中小製造事業者の施設等の復旧支援

②経営安定等に向けた融資制度の充実

- (1) 中小企業経営安定資金等貸付金(震災対応分)
 297 億 6,000 万円
- (2) 被災中小企業者対策資金利子補給 2 億 2,500 万円
 ・中小企業者の借入資金の金利負担軽減
- (3) 中小企業等二重債務問題対策事業 2 億円

③企業の競争力向上に向けた技術開発、人材育成等への支援

- (1) K C みやぎ(基盤技術高度化支援センター)推進費
 996 万 4 千円
 ・**新**次世代素材である C N F 等の活用に向けた取組等
- (2) デジタルエンジニアリング高度化支援費
 1,653 万 2 千円
 ・**新**3Dプリンタ等を活用した県内企業への支援等
- (3) 水産加工業ビジネス復興支援費 6,266 万円
 ・水産加工業者に対する課題解決型伴走型支援体制整備

④更なる販路開拓・取引拡大等に向けた支援

- (1) ものづくり企業販路開拓・取引拡大支援費
 1,600 万円
 ・県内企業の販路回復のための商談会の開催、展示会出展支援等
- (2) 高度電子機械産業集積促進費 7,455 万 9 千円
 ・航空機、医療分野等の製品開発支援
 ・放射光施設誘致に関する普及啓発等
- (3) 自動車関連産業特別支援費 8,574 万 3 千円
 ・自動車関連産業における取引拡大や新規参入への総合支援
- (4) 東アジア経済交流促進費 425 万 8 千円
 ・中国・台湾での商談会開催等
- (5) 東南アジア宮城県産品マーケティング支援
 6,900 万円
 ・ベトナムでの県産品輸出促進に向けたテストマーケティングの実施等

⑤更なる企業誘致の展開と新たな産業集積の促進

- (1) みやぎ企業立地奨励金事業費 34 億円
 ・県内外企業の工場新增設の促進
- (2) 対宮城県直接投資促進費 2,274 万 2 千円
 ・外資系企業の県内への投資・企業進出の促進

Ⅱ. 商業・観光の再生

①沿岸部のまちづくりの状況に応じた商業機能の再生

- (1) 中小企業等復旧・復興支援費(商店街型)
 18 億円
 ・共同店舗等の整備支援
- (2) 商業機能回復支援費 3 億円
 ・店舗営業者を含めた事業者の店舗等の本格復旧の支援
- (3) 商談会開催支援費 1,000 万円
 ・中小企業支援機関が行うビジネスマッチングの支援

②経営安定等に向けた融資制度の充実

- (1) 中小企業経営安定資金等貸付金(通常分)
 572 億 4,300 万円

③商工会、商工会議所等の機能強化に向けた支援

- (1) 小規模事業者伴走型支援体制強化費 2,000 万円
 ・商工団体が専門家と連携して行う伴走型支援体制の整備
- (2) 小規模事業経営支援費 19 億 6,230 万 5 千円
 ・経営指導員等の設置及び経営改善などの取組支援等

④商業の活性化に向けた支援

- (1) 商店街再生加速化支援費 4,765 万円
 ・先進的、持続的な地域商店街モデル構築に係る取組への支援
- (2) まちなか創業チャレンジャー支援費 1,500 万円
 ・空き店舗を活用したチャレンジショップの整備など、
 地域における創業支援体制強化の支援

⑤沿岸被災地の観光回復

- (1) 沿岸部交流人口拡大モデル施設整備費 4 億 100 万円
 ・沿岸部でのモデル宿泊施設、観光集客施設の整備支援
- (2) 観光施設再生・立地支援費 6,000 万円
 ・被災観光事業者の施設等の復旧支援
- (3) 沿岸部観光復興情報等発信強化費 1 億円
 ・首都圏等のマスメディアを活用した沿岸部の情報発信等

《伊達政宗公生誕 450 年記念プロモーションについて》

今年は伊達政宗公生誕 450 年の記念の年に当たります。
 政宗公の戦国大名としての生き様はもちろん、現代につながるインフラ整備等、数々の業績を改めて照らし出し、宮城のすばらしい歴史の再発見につなげるとともに、宮城の魅力を広く全国に発信するため、官民一体となって盛り上げを図ることとしています。
 県では、
 ☆ロゴマークの作成・活用 ☆各種イベント等での PR ☆ウェブページでの情報発信
 などに取り組んでまいります。

⑥外国人観光客の誘客促進

- (1) インバウンド誘客促進費 3 億 7,500 万円
 ・2020 年の本県外国人宿泊数 50 万人泊を達成するため、ターゲットとする外国人旅行者に応じた旅行商品造成等の取組
- (2) 外国人観光客誘致促進費 2,836 万 7 千円
 ・台湾・中国・韓国・香港からのマスコミ等の招請、教育旅行の誘致
 ・**新**台湾のほか上海・北京への現地コーディネーター配置等
- (3) 香港等からの観光客誘客促進費 3,000 万円
 ・香港からの宿泊旅行者回復のための取組
- (4) **新**仙台・松島復興観光拠点都市圏強化費
 1 億 2,700 万円
 ・都市圏を包含する DMO 組織の新設
 ・体験型観光コンテンツを PR する多言語のパンフレット作成
- (5) インバウンド誘客拡大受入環境整備支援費 5,600 万円
 ・Wi-Fi 等の外国人観光客受入環境の整備

⑦東北が一体となった広域観光の充実

- (1) 航空会社と連携した観光キャンペーン推進費 5,000 万円
 ・東北のゲートウェイとしての仙台空港の機能を活かした航空会社や空港運営権者等と連携した観光キャンペーン実施
- (2) 東北連携による外国人観光客誘致促進費 7,500 万円
 ・東北観光推進機構を中心に東北各県・仙台市が一体となって行う広域プロモーション等

⑧国内外からの誘客強化と受入態勢の整備

- (1) **新**松島水族館跡地利用施設整備費 2 億 50 万円
 ・公募により選定された事業者の施設建設費の支援
- (2) **新**冬の観光キャンペーン推進費 2,500 万円
 ・県内各圏域の市町等の連携による観光人材育成やプロモーションの実施、観光業者向けセミナーの開催等

Ⅲ. 雇用の維持・確保

①安定的な雇用の維持・確保

- (1) 緊急雇用創出事業費 26 億 7,383 万 5 千円
 ・被災地の産業復興と一体となった安定的な雇用の創出等
- (2) 離職者等再就職訓練費 5 億 5,293 万 1 千円
 ・離職者等に対する再就職に必要な知識・技能の習得支援
- (3) 沿岸地域就職サポートセンター運営費 1 億 1,792 万 3 千円
 ・石巻・塩竈・気仙沼地域におけるサポートセンターの設置による被災者等に対するきめ細かな支援体制整備
- (4) 若者等人材確保・定着支援費 3,650 万円
 ・中小企業の人材確保や職場定着の推進等
- (5) キャリア教育推進費 2,421 万 8 千円
 ・キャリア教育プログラムの実施等
- (6) 中小企業ワーク・ライフ・バランス支援事業 60 万円
 ・県内企業におけるワーク・ライフ・バランス推進のための普及啓発等
- (7) 子育て女性等就職支援費 1,800 万円
 ・子育て女性等の再就職支援を行う地方拠点の整備・育成
- (8) 障害者雇用アシスト費 3,900 万円
 ・障害者雇用の推進のための企業に対する普及啓発等

②新規学卒者等の就職支援

- (1) 高卒者就職支援費 221 万 2 千円
 (2) 新規大卒者等就職支援費 250 万 4 千円
 ・企業説明会や就職面接会の開催等

③企業誘致等による雇用の確保

- (1) 創業加速化支援費 8,000 万円
 ・県内全域における創業の支援

④復興に向けた産業人材育成

- (1) 産業人材育成プラットフォーム推進費 175 万 6 千円
 ・産学官で組織する「みやぎ産業人材育成プラットフォーム」の運営を通じた教育と産業界が一体となった人材育成
- (2) ものづくり人材育成確保対策費 3,000 万円
 ・県内製造業に対する高校生等の認知度向上や就職の拡大を図るための工場見学会の開催等

伊達政宗公生誕 450 年記念プロモーション
 特設ホームページアドレス

<http://www.pref.miyagi.jp/site/date450/>



伊達政宗公生誕 450 年